

令和8年度 運営に関する計画



令和8年4月
大阪市立梅香小学校

(様式1)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

(1) 安全・安心な教育の推進

児童は比較的落ち着いた態度で学校生活を送っている。しかし、その一方で、頻繁に遅刻をする児童や不登校気味の児童も見られ、家庭への啓発や外部機関との連携が必要である。

学校アンケートの「自分に良いところがあるか」という質問に肯定的に回答する児童は87%であったため、自尊感情を高めるような取り組みを進めていかなければならない。あわせて、いじめを許さない姿勢を育てるため、自分が大切であるだけでなく、他の人も大切であるということについても指導していく必要がある。

(2) 未来を切り拓く学力・体力の向上

令和7年度の全国学力・学習状況調査において、国語科・算数科ともに大阪市平均を下回る結果になった。また、令和7年度経年調査で「宿題以外で、自分で学習している」の問いに肯定的な回答をした児童の割合は53%にとどまっており、意欲的な学習習慣を育成し、学力を向上させることが喫緊の課題である。

体力面では、外遊びをしている児童の割合は高く、毎週の全校朝会時にラジオ体操を行い、継続的な運動習慣を確保したり、縄跳び週間やかけあし週間などを実施したりしている。令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、体力合計点が男女とも全国平均、大阪市平均を大幅に上回っており、現状の数値を維持・向上していくためにも、今後も体育の学習はもとより体育的活動も大切に取り組んでいく必要がある。

(3) 学びを支える教育環境の充実

令和7年度小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合は65%であった。発表ボードの活用、インターネットによる調べ学習など、学年によって活用内容は様々であるが、今後も効果的な活用ができるよう研究・研修を進めていく。

教員の時間外勤務時間については、昨年度の月平均時間は22時間で、一昨年度よりもやや減少しているが、時期によっては時間外勤務時間が増加するため、業務内容の見直しや業務の分担などを進めていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度までに、小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。
- 令和11年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を69%以上にする。
- 令和11年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下を維持する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7 87%)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。(R7 データなし)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。(R7 88%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を66%以上にする。(R7 65%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月21時間以下とする。(R7 22時間)

大阪市立梅香小学校 令和8年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7 87%) ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。(R7 データなし) | |
| <p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> | 達成状況 |
| <p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が主体的に関わる係活動や委員会活動、行事づくりに加え、体験活動や校外活動の充実を図り、学校生活への意欲を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して各学級における係活動を実施する。 ・学期に1回以上、児童の意見を取り入れた取組を行う。 ・各学年で年間1回以上、体験的活動を実施する。 | |
| <p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学年会や会議を通して情報共有を行うとともに、SC・SSW等の専門職と連携し、組織的に支援を進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策委員会の実施(月1回)を通して対象児童に関する情報共有を行う。 ・スクリーニング会議Ⅱを実施し(学期1回)支援方針の確認・見直しを行う。 | |
| <p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>キャリアパスポートを活用した振り返り活動を通して、自己の成長やよさへの気づきを促すとともに、異学年交流を実施し、他者との関わりを通して相手のよさや立場への理解を深める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用した振り返りの実施を年間4回以上行う。 ・異学年交流を学期1回以上行う。 | |

大阪市立梅香小学校 令和8年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。(R7 88%)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>算数科において、公開授業や授業研究を通して指導方法の工夫・改善を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れ、児童が「わかった」と実感できる授業づくりを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年において、算数科の公開授業を各1回実施する。 ・すべての教員が公開授業を実施する。 ・後期の学校アンケートにおける「算数の学習がわかる」に対して肯定的な回答をする児童の割合90%以上とする。 | |
| <p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育的行事の実施に加え、運動環境の整備を行い、ボール遊びや一輪車、竹馬等、多様な運動に親しめる機会を充実させ、児童が主体的に体を動かすことができる環境づくりを行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事を年間3回以上実施する。 ・運動環境の整備(ボール遊び、一輪車、竹馬等の用具の設置・活用)および児童が運動に親しめる工夫をする。 | |

大阪市立梅香小学校 令和8年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を66%以上にする。(R7 65%)</p> <p>○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月21時間以下とする。(R7 22時間)</p> | |
| <p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> | 達成状況 |
| <p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>各教科において学習者用端末を活用した学習活動を日常的に取り入れ、児童が主体的に端末を活用する機会の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用に関する校内研修会を年1回以上実施する。 ・後期学校アンケートにおいて、「学習者用端末を使った学習はわかりやすい」と肯定的回答を80%以上とする。 | |
| <p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議の精選や業務の効率化を図るとともに、「ゆとりの日」や6時間目カットの日を設定し、教材研究や校務処理等の時間を計画的に確保することで、教職員の時間外勤務の縮減を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回以上「ゆとりの日」を設定し、業務の効率化や教材研究等の時間を確保する。 ・年間15回以上、6時間目をカットする日を設定し、会議や校務処理等の時間を確保する。 | |